

新規事業所（GMP工場 加須パッケージングセンター）を設立
医薬品の製造から納品まで迅速・的確なサービス提供のため中央運輸と協力

2021年4月19日

武州製薬株式会社

武州製薬株式会社（本社：埼玉県川越市、代表取締役社長兼 CEO 岡田哲一 以下、武州製薬）は、中央運輸株式会社（以下、中央運輸）の加須医薬品共同物流センター内に医薬品の検査・表示・包装および保管業務を実施するエリア「武州製薬 加須パッケージングセンター（仮称）」を設置したことをお知らせします。

今般、武州製薬は中央運輸と2021年1月に同物流センターに保管エリアと冷蔵室を設置する契約を締結すると共に、埼玉県よりGMP区分許可（保管）を取得しました。

今後、治験薬包装・商用品包装の業務拡大のため、同センターに包装室を立上げ、検査・表示・包装業務を行います。当該センターの稼働は、2021年夏頃を予定しています。

中央運輸は、医薬品卸大手の株式会社スズケンの100%子会社で医薬品、医療機械及び機器等の輸送を主な業務としており、医薬品等の流通及び保管等について豊富なノウハウ、経験及び高い輸送技術を有していることから、中央運輸の物流センター内に武州製薬の検査・表示・包装エリアを設置し、武州製薬の技術力と中央運輸のノウハウ、経験を融合し、これまで以上に委託元である医薬品メーカーに対し、製造から納品まで迅速かつ的確なサービスの提供を致します。

所在地：埼玉県加須市北辻 37-3

能力等：冷蔵倉庫（2~8℃） 634パレット

室温倉庫（1~30℃） 648パレット

室温包装エリア（グリーンゾーン）約 1,500 m²

冷蔵包装エリア（グリーンゾーン）約 334 m²



お問い合わせ先：

担当：マーケティング本部

電話：049-273-6386

住所：埼玉県川越市竹野 1 番地

Website：<https://www.bushu-pharma.com/contact-us/>

武州製薬株式会社について

武州製薬は、20 年以上にわたって培った CDMO の経験と知見を活かし、固形製剤・固形剤一次包装・注射剤製造・注射剤包装を国内向け医薬品製造だけでなくグローバル向けの医薬品製造をしております。治験薬から商用品の開発サポートから商用化までの製造対応が可能で、多くの製造設備と技術を保有しております。

プロジェクト開始から承認まで、日本における[T11]技術移転、生産、包装、ロジスティックといった最適なソリューションを提供できる国内大手の受託製造専門会社です。

詳細はホームページをご参照ください。<https://www.bushu-pharma.com/>